



写真提供・長崎新聞社

詩人・児童文学作家

藤川幸之助氏講演会

支える側が支えられるとき

～認知症の母が教えてくれたこと～

母は60歳の時アルツハイマー型認知症と診断され、84歳で亡くなりました。認知症を患ってからの24年間の母の心の不安、忘却への恐怖、病気による混乱とそれを支えた家族の心の葛藤を通して、認知症という病気や介護について、詩の朗読を交えてお話しします。母の介護の日々を振り返ると、母を支えていたと思ってきた私が、実は母に精神的に支えられ、育てられていたと深く感じるのです。

扉

『満月の夜、母を施設に置いて』
(中央法規)

認知症の母を
老人ホームに入れた。

認知症の老人たちの中で
静かに座って私を見つめる母が
涙の向こう側にぼんやり見えた。
私が帰ろうとすると
何も分かるはずもない母が
私の手をぎゅっとつかんだ。
そしてどこまでもどこまでも
私の後をついてきた。

私がホームから帰ってしまおうと
私が出ていった重い扉の前に
母はびったりとくっついて
ずっとその扉を見つめているんだと聞いた。

それでも

母を老人ホームに入れたまま

私は帰る。

母にとっては重い重い扉を

私はひょいと開けて

また今日も帰る。



2025.10.19(日) 13:00—15:10

要申込 / 入場無料 / 受付開始 12:30

会場 福山市老人大学 2階講堂

福山市地吹町12-7（駐車場あり）
お車の乗り合わせにご協力ください

申込方法

地域包括支援センター野上に電話(084-921-0210)またはQRコード

※お申し込みの際には、お名前と電話番号を伺います。

収集した個人情報は、当該講演会に関するご連絡以外には使用しません。

申込期間：2025年8月18日(月)～9月30日(火) 対応時間 9:00～17:00（日祝除く）

※定員に達した場合は、申し込みをお断りする場合があります。

